

昭和興産インドネシア



矢尾智社長

昭和興産インドネシア(矢尾智社長)では、合成樹脂と衛生材料のトレーディング、さらに代理店業務の拡大で持続的な成長の実現を目指す。生活必需品など消費財関連のビジネスが着実に伸長しコロナ禍でも拡大基調が続いている。現地に根差した事業の幅を広げ、経営基盤を強固にしていく。

同社は、界面活性剤の輸入販売をメインに手がけ、その他、エレクトロニクス関連部材や塗料原料なども取り扱っている。2014年の設立以降、増収増益を継続。20年度もコロナ禍にもかかわらず、新規採用が伸びたことなどから業績は前年比プラスで推移している。

業容拡大にともないフカシ県テルタマス地区に構えた事務所を同県の新興ヒジネスエリアへ移転。従業員を補充できるスペースも確保し、中長期的な成長に向けた体制を整えた。

新規採用伸び、増収増益継続

主力の界面活性剤に加え、樹脂関連事業を収益の柱に育成する。合成樹脂の中東品をインドネシア市場に展開、建材分野で実績をあげている。今後は、樹脂にとどまらず、添加剤や難燃剤も本格的に販売していく。グループ拠点との連携で商材を投入し顧客を開拓していく。

さらに衛生材料向け資材、紙製品、潤滑周辺商材など積極的に取り扱い商材を拡充する予定で、潜在需要が大きいインドネシア市場の成長を取り込んでいく。

中・長期的に、インドネシアに拠点がない日系メーカーの代理店業務も活発化する計画。販路を持つ調達先の拡販を支援しながら存在感を高めていく。

物流面ではチラカンとスラバヤに倉庫を設置している。商圏を広げていくため、さらなる倉庫の拡充など体制を整備していく方針。